

# 三浦市議会だより

## 第3回定例会

# 平成二十七年度決算を認定 給付型奨学金の創設等を求める意見書を可決



3地区で議会報告会を開催しました(三崎地区：市役所 議場)

### 定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
9月6日	火	本会議	会期の決定、一般質問
7日	水	本会議	一般質問
8日	木	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)、決算審査特別委員会の設置
9日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
12日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
14日	水	決算審査特別委員会	議案の審査
15日	木		
16日	金		
20日	火		
21日	水		
28日	水	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・決算審査の各委員長報告・討論・採決)、意見書案、人事案件(教育委員会委員)、閉会中継続審査申し出、議員派遣について、報告

平成二十八年第三回定例会は、九月六日から二十一日までの二十三日間を会期として開かれました。  
 今定例会では、平成二十七年度決算を初めとする、十五議案の審議を行いました。  
 また、最終日には、返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書を可決し、関係機関に送付しました。(記事七面)

#### 〈議会だより第126号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
決算審査特別委員会	1～2面
常任委員会	2面
一般質問	3～6面
陳情の審査	7面
本会議における討論	7面
可決した意見書	7面
人事	7面
議会報告会	8面
次回定例会の予定	8面
議案等の審議結果	8面

## 決算審査特別委員会

### 議案の審査概要

平成二十七年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の決算議案は、八人の委員で構成する決算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

### 決算審査特別委員会

- 委員長 草間道治  
 副委員長 小林直樹  
 委員 下田剛  
 石橋むつみ  
 長島満理子  
 神田真弓  
 出口正雄  
 藤田昇

### 総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

**市の財政運営**  
**質問** 市税減少など厳しい財政状況が続く中で、平成二十七年度決算に対する市長の見解は。  
**答弁** 財政状況は依然厳しいが、身の丈に合った財政規模、事業内容で取り組んでいる。また、国の交付金等を有効に使い、定住促進策やプレミアムつき商品券など、今までにない事業展開ができた。  
**ふるさと納税**  
**質問** 財源対策として

取り組まれているふるさと納税活性化事業の状況を伺いたい。  
**答弁** 二十七年度は前年に比べると若干、額が減少した。貴重な財源として活用しているが、自治体間の競争による影響もあり、新たな手法を検討する状況にある。  
**観光振興**  
**質問** 観光誘客の取り組みに関する成果は。  
**答弁** 長年の懸案であった三崎口駅への観光案内所の設置ができたことは、非常に効果があったと思う。  
 誘客プロモーション事業では、事業者からの協力を得て積極的な事業展開をしており、結果が出せるよう引き続き頑張りたい。(その他の質疑項目)  
 ・決算額全体における教育費の比率について  
 ・市制施行六十周年の取り組みについて  
 ・市民活動デイについて



# 一般質問

## 質問と答弁の要旨



○水産業の振興	(みうら市政会 出口眞琴).....	3面
○自転車で三浦市を楽しむ	(日本共産党 石橋むつみ).....	3面
○水産業の活性化に向けて	(公明党 藤田 昇).....	4面
○地震災害対策	(自由民主党 出口正雄).....	4面
○道路の安全	(無所属 下田 剛).....	4面
○ごみ持ち帰りの啓発	(みうら市政会 長島満理子).....	5面
○市営プールの補修	(日本共産党 布川照美).....	5面
○滞在型の観光を	(無所属 寺田一樹).....	5面
○公共施設の現状と今後	(みうら市政会 神田眞弓).....	6面
○大規模災害に備える	(日本共産党 小林直樹).....	6面
○六次経済の構築	(みうら市政会 草間道治).....	6面

### 水産業の振興

避難所運営委員会、「ごみ処理業務

みうら市政会 出口 眞琴

**質問** 三崎漁港における高度衛生管理基本計画では、高度衛生管理の推進により見込まれる効果として、三崎ブランドの価値向上等が挙げられている。

三崎マグロのブランドを維持、強化するために、どのように取り組んでいくのか。

**水産担当部長** 三崎漁港に立地する魚市場として、マグロのブランド価値を維持し、高め

ることは極めて重要であり、高度衛生管理の推進はそのための取り組みの一つである。

高度衛生管理はハードだけではなくソフトとの一体的な取り組みが重要であり、関係者と一体となって進めたい。

**協議の促進**

**質問** 災害に備え、全ての避難所に避難所運営委員会が設置されて

いるが、運営に関する協議がおくれている避難所がある。

仮に、今災害が発生した場合、市の職員が配置されても混乱することが予想されるので、速やかに協議を進めていくよう調整を図っていただきたい。

**総務部長** お話のとおり、避難所の運営についてきちんと定められていなければ、避難所に市職員を配置しても、運営が混乱するおそれがある。

今後、詳細事項まで協議を進めている先進事例を紹介しながら、避難所運営の重要性について理解を得よう

努めたい。

**民間委託の検討**

**質問** ごみ処理業務の民間委託導入の大きなメリットとして、競争原理に基づくコスト削減がある。

一方で、効率化優先による市民サービスの低下や、ごみダイエツト大作戦の推進に支障を来さないように配慮して民間委託を進めることが必要だと考えるが、市の考えは。

**都市環境部長** ごみ処理業務は市民生活に密着した業務であり、ごみの減量化や資源化は市民との協働作業で推進している。

委託化については、市民サービスの低下を招かないよう配慮するとともに、ごみ処理広域化やごみダイエツト大作戦の推進に支障がないよう慎重に進めることが重要だと考える。



ブランド力の強化を

### 自転車で三浦市を楽しむ

高齢者の健康、平和行政

日本共産党 石橋 むつみ

**質問** 近年、自転車がスポーツやレジャーの手段として多く利用されるようになり、三浦市内でもロードバイクやレンタサイクルなどで楽しんでいる人が見られる。

安全面や交通ルールを呼びかけつつ、モデルコースなど楽しめる場所を知ってもらえるような、よい方法はないか。

**経済部長** 横須賀三浦地域県政総合センターのホームページや「自転車半島宣言」という冊子の中でモデルコースが紹介されている。

また、三浦海業公社が「三浦市サイクリング&ウォーキングMAP」を作成・配布し、非常に好評だと伺っている。

今後関係機関と連携してサイクリング愛好家を呼び込む仕掛けを考えると、市民にもPRをしたい。

**健康を保つために**

**質問** 三浦市は高齢化率が高く、高齢者だけの世帯が多いため、医療や暮らしていく上での不安が大きい。

高齢者が自分自身の健康状態を把握して、病気になるにくい体の状況を保てるよう、市としてどのような取り組みを行っているか。

**保健福祉部長** 後期高齢者医療制度における健診事業として実施しているなごみ健診は、無料で受診ができる。

また、平成二十七年からは歯科健康診査も実施している。また、一部有料となるが、三浦市立病院で



「うらり」のレンタサイクル

実施している七十五歳以上の方が対象の七福神ドックや、健康づくり課で実施している各種がん検診なども受診できる。

**新たな取り組みは**  
**質問** 戦後七十一年となり、戦争や被爆を直

接語れる方が少なくなってきたが、後に残る者が語り継ぐことは大切なことだと思

う。おとし、去年は平和の標語を募集する取り組みをしているが、対象年齢や実施内容等を見直して、新たな企画をすると述べられて

いる。今年度の予定を伺いたい。

**政策部長** 今年度は新たな視点での事業を予定しており、具体的には、市内の小学校で、市内の戦争遺構に関する授業を行う方向で調整をしている。

# 水産業の活性化に向けて

地域再生計画、CCRC

公明党 藤田 昇

※は欄外に説明を記載

**質問** 三崎漁港におけるグローバルブランドインダストリー戦略策定事業の取り組みでは、国内外の販路拡大を促進し、三崎ブランドの拡大、発展につなげてほしい。

この中で、三崎漁港輸出促進基本戦略を策定することだが、設置した協議会では、どのような方針で検討を行うのか。

**水産担当部長** 協議会では、輸出に限らず、

地域再生計画の策定に取り組んでいる。市では事業者から九件の事業提案を受け、これから本格的な審査を行うが、事業提案の内容は多岐にわたるため、市職員だけでは、確実な審査ができる範囲に限界があるのではないか。

**市長** おっしゃるとおりで、自分の経験からも、事業の収支計画、実現性などを公務員が判断するのは難しいと思う。

したがって、外部の有識者として、金融機関の方など知見を持つ方からアドバイスをいただけるような体制を

**事業提案書の審査** 二町谷地区への企業誘致を図るために、

**質問** 算が必要な対策については、国・県に対して今以上の働きかけをすることが大事だと考える。市長の考えをお聞きしたい。

**市長** これまで、防災訓練や市民防災講座等の実施によりソフト面での災害対策を進めており、一定の効果も上がっていると思う。

一方、防災資機材の購入や危険箇所解消のための工事などハード面の対策は、三浦市単独で実現していくのはなかなか難しいため、補助制度の拡充について要望をしている状況である。

**教育長** 中学校では、各学区内で地区懇談会を行い、情報共有の場として大きな役割を果たしている。小学校では、学校ごとの地区懇談会や、スクールガードとの情報交換会などを行っており、たくさんの方の目子

つくっている。

**事業の進展**

三浦版 CCRC 構想は、事業者名が正式に報告されるなど、事業展開に向けた準備が着々と進んでいることが感じられる。

今回の構想のコンセプトは「三浦に来ると健康になれる、健康になるために行きたい場所、三浦」とのことであり、この方向性は、神奈川県内の未病への取り組みとも合致すると思うが、市長の考えは。

**市長** 県の未病への取り組みとは明確に合致すると思っており、県知事にもこの件を報告

**観光誘客** 二〇二〇年東京オリンピックでは、横浜や江の島でも競技が行われるため、国内外の多くの方が県内を訪

**質問** 観光都市三浦として、この機会を逃さぬよう、今からアピールすることが必要だと思うが、いかがか。

**経済部長** 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた地域の PR は、首都圏はもと

より、全国の自治体からグリーンベルトを整備している。三浦市においても、これまで培ってきたノウハウを生かしながら、県、民間事業者と連携して、観光客に向けた PR 手法について検討したい。

**各機関との連携** 昨年、熊本地震や台風などの自然災害により大きな被害が出ている。本年五月に、市や市消防署、三崎警察署、陸上自衛隊で危機対策機関連絡協議会を設立しているが、このメン

して、関係者会議には県の地域政策課長にも参加してもらっている。CCRC という新し

いコミュニティとともに、三浦市全体の健康施策を視野に入れて取り組むたい。



三崎魚市場

# 道路の安全

災害対策、福祉施設への対応

無所属 下田 剛

**質問** 道路のグリーンベルトは歩行者の安全を守るために有効な手段の一つであり、市内でもさまざまな箇所に見受けられるようになった。

市民からも、安心して通れるようになったと評価されているので、今後も必要と考えられる箇所には早期の整備を求めたい。

**都市環境部長** 市では、通学路の安全対策として、平成二十六年

不測の事態に備えて **質問** 七月に相模原市

の福祉施設、県立津久井やまゆり園で入所者などが殺傷される痛ましい事件が起きた。市は、不測の事態に備えて何か対策を行っているのか。また、この事件を受けて、市内の福祉施設に対してどのような対応を行ったのか。

**保健福祉部長** 市が所有する施設での対策としては、三浦市地域福祉センターと三浦市老人福祉保健センターでは、不審者を見かけた場合は速やかに警察に通報することが徹底されており、夜間は機械警備を行っている。市内の福祉施設への対応としては、注意喚起の状況の確認と、今後の対応についての意見交換を行った。

今年五月に、市や市消防署、三崎警察署、陸上自衛隊で危機対策機関連絡協議会を設立しているが、このメン

# 地震災害対策

子供を見守る体制、オリンピック

自由民主党 出口 正雄

**質問** 国が大地震発生時の確率を上げている中、市民の安全を確保するための行動が必要である。財政の厳しい三浦市では可能な限りのソフト対策をし、高額な予

算が必要な対策については、国・県に対して今以上の働きかけをすることが大事だと考える。市長の考えをお聞きしたい。

**市長** これまで、防災訓練や市民防災講座等の実施によりソフト面での災害対策を進めており、一定の効果も上がっていると思う。

一方、防災資機材の購入や危険箇所解消のための工事などハード面の対策は、三浦市単独で実現していくのはなかなか難しいため、補助制度の拡充について要望をしている状況である。

小学校では、学校ごとの地区懇談会や、スクールガードとの情報交換会などを行っており、たくさんの方の目子



市民防災講座の様子



グリーンベルト

※三浦版 CCRC 構想……日本版 CCRC 構想(高齢者が地方に移り住み、健康でアクティブな生活の実現と継続的なケアが受けられる地域づくり)を推進し、三浦市の持つ魅力的なコンテンツを活用しながら、雇用創出や人口減少抑制に寄与するまちづくりを目指すもの

# ごみ持ち帰りの啓発

地域活性化、投票しやすい環境

みうら市政会 長島 満理子

**質問** 三浦海岸納涼まつり花火大会では、大会翌日に実行委員会やボランティアを中心に、海岸から駅までを清掃する。放置された大量のごみを見ると、何か対策を考えなければいけないと感じる。

大会当日は、多くのスタッフが警備や誘導をしているので、安全に注意しながら、ごみの持ち帰りを促す啓発活動はできないか。

**経済部長** スタッフの配置は来場者の誘導や交通規制を目的としているため、まずは安全確保に重きを置かざるを得ない面がある。

ごみの持ち帰りについては、可能な範囲で声かけ対応を広げていくことを実行委員会に提案していきたい。

**質問** 農産物を利用し、地域活性化につなげていく考えはないか。

参議院選挙の投票率が県内で最も低かった三浦市では、市民が投票しやすい環境づくりが必要だと考えるが、市の取り組みは。

**経済部長** 機能性食品の表示により、付加価値として三浦野菜の価値を上げる効果が期待され、農産物生産者の所得向上につながることで大きなメリットとして予測される。

現在、具体的な方策は決まっていないが、関係機関と協議を行い、活用方法について検討を進める考えである。

**質問** 共通投票所は非常に便利な制度だが、二重投票を防ぐためのシステムを構築する必要があり、財政的に困難との理由から設置を見送っている。

県内でも共通投票所を設置した自治体はないため、国や他の自治体の今後の動向等を注視していく必要があると考えている。

**質問** 改正公職選挙法

参議院選挙を終えて

## 滞在型の観光を

無所属 寺田 一樹

参議院選挙を終えて

**質問** 三浦市を訪れる観光客は年々増加し、目標の年間六百万人への届くところまで来ている。これは営業開発課を中心に取り組んでいるシティ・セールの成果であると言える。

今後の観光施策としては、シティ・セールスなどの誘客の取り組みから、滞在時間の延長を図るような取り組みにシフトチェンジし

てもいいのではないか。

**市長** 平成十六年に営業開発課を立ち上げ、国内外に広く三浦の魅力について営業活動を行ってきた。

質問の趣旨は、今までのような日帰り中心のセールスではなく、回遊性を向上させ、滞在型の取り組みにシフトすべきというご意見かと思うが、私も同様の認識である。

**市長** 県内で最も低い投票率というところで、何か取り組みに問題があったのではないかとこの結果を受けてどのように感じているか。

**市長** 県内でも最も低い投票率というところで、何か取り組みに問題があったのではないかとこの結果を受けてどのように感じているか。

**市長** 県内でも最も低い投票率というところで、何か取り組みに問題があったのではないかとこの結果を受けてどのように感じているか。

**機能性表示食品** 昨年四月から食品表示基準に新しく機能性表示食品が規定され、JAみっかびのミカンが果実として全国で初めて機能性表示食品に認定された。



農水産物を利用した地域活性化を

## 市営プールの補修

投票所の利便性、学校給食

日本共産党 布川 照美

進するなどの効果がある。三浦市の市営プールは老朽化し、平成二十三年度から休場しているが、補修するなどの程度費用がかかるのか。

**市長** 補修に要する費用を試算していないため、正確な額を申し上げるのは難しい。休止から六年が経過して施設のふぐあいも増していると思うので、衛生的に安心して利用するためには、相当大規模な改修工事が必要であり、かなりの額になると見込んでいる。

**市長** 補修に要する費用を試算していないため、正確な額を申し上げるのは難しい。休止から六年が経過して施設のふぐあいも増していると思うので、衛生的に安心して利用するためには、相当大規模な改修工事が必要であり、かなりの額になると見込んでいる。

**質問** 水泳は学校の授業で必修となっているため、なじみのあるスポーツであり、気軽に誰でも楽しむことができる。また、子供のころに水泳を行うことは、脳神経回路の発達を促

進するなどの効果がある。三浦市の市営プールは老朽化し、平成二十三年度から休場しているが、補修するなどの程度費用がかかるのか。

**市長** 補修に要する費用を試算していないため、正確な額を申し上げるのは難しい。休止から六年が経過して施設のふぐあいも増していると思うので、衛生的に安心して利用するためには、相当大規模な改修工事が必要であり、かなりの額になると見込んでいる。

**市長** 補修に要する費用を試算していないため、正確な額を申し上げるのは難しい。休止から六年が経過して施設のふぐあいも増していると思うので、衛生的に安心して利用するためには、相当大規模な改修工事が必要であり、かなりの額になると見込んでいる。

**市長** 補修に要する費用を試算していないため、正確な額を申し上げるのは難しい。休止から六年が経過して施設のふぐあいも増していると思うので、衛生的に安心して利用するためには、相当大規模な改修工事が必要であり、かなりの額になると見込んでいる。

**市長** 補修に要する費用を試算していないため、正確な額を申し上げるのは難しい。休止から六年が経過して施設のふぐあいも増していると思うので、衛生的に安心して利用するためには、相当大規模な改修工事が必要であり、かなりの額になると見込んでいる。



休場中の市営プール

**質問** 三浦市を訪れる観光客は年々増加し、目標の年間六百万人への届くところまで来ている。これは営業開発課を中心に取り組んでいるシティ・セールの成果であると言える。

今後の観光施策としては、シティ・セールスなどの誘客の取り組みから、滞在時間の延長を図るような取り組みにシフトチェンジし

てもいいのではないか。

**市長** 平成十六年に営業開発課を立ち上げ、国内外に広く三浦の魅力について営業活動を行ってきた。

質問の趣旨は、今までのような日帰り中心のセールスではなく、回遊性を向上させ、滞在型の取り組みにシフトすべきというご意見かと思うが、私も同様の認識である。

**市長** 県内で最も低い投票率というところで、何か取り組みに問題があったのではないかとこの結果を受けてどのように感じているか。



三崎下町を歩く観光客

# 公共施設の現状と今後

国際交流、みうら夜市

みうら市政会 神田 真司

**質問** 市の施設については、老朽化や耐震性の問題から、福祉会館の閉鎖を皮切りに、青少年会館の教育部、上下水道部の水道事業所が分館や第二分館に移転した。閉鎖した各施設は今後どうなるのか。

また、引橋の旧三崎高校跡地には新しい消防庁舎が建設中だが、現在の消防庁舎はどうなるのか。

**市長** 水道事業所は今年度内に解体する予定であるが、福祉会館と青少年会館は、解体の時期は未定である。消防本部は、今年度末まで使用し、その後閉鎖するが、建物と敷地の維持管理や活用の方法は、今後庁内で議論したい。

## 貴重な体験を

**質問** 青少年姉妹都市国際交流事業は、夏休みを利用してウォーナー

受益者負担の観点から一定の負担をいまだくという考えは継続するが、育成寄附金の活用については、交流事業の実行委員会とも相談して進めていきたい。

**市長** 今回、日の出通り商友会にご協力いただき、試験的に会場内に休憩スペースと手づくり灯籠を設置した。当日は多くの方が休憩スペースを利用し、ま

**質問** 六次経済の構築を進める施策として、「みうら・みさき海の駅」うらりマルシェが拓く六次経済の未来創生事業」に取り組み。うらりマルシェは、新しい販路の拡大につながる大きなチャンスであり、市内のやる気のある若い世代や女性が多く参加できるような企画にしてほしい。現在の事業の進捗状況はどうか。

**水産担当部長** 海業公社からは、うらりマルシェの開設は十一月初旬であること、関連して設置する「うらり」の外階段は、年内に工事を終えたい考えであることを聞いています。また、うらりマルシェへの出店者としては、約七十軒の農家から登録の希望が寄せられており、今後も拡大をしていきたい考えである。と聞いている。

ンブル市を訪れ、外国の文化や生活習慣を肌で感じ取るという非常に大切な事業である。現在、参加者の支払う負担金が高どまりの状態にあるので、みうらっ子育成寄附金を活用し、一人でも多くの中高生が国際交流派遣生に応募できるように、応援できないか。

た、手づくり灯籠の写真撮っている方も多く見られた。今後も、地域の皆さん

**質問** 六次経済の構築を進める施策として、「みうら・みさき海の駅」うらりマルシェが拓く六次経済の未来創生事業」に取り組み。うらりマルシェは、新しい販路の拡大につながる大きなチャンスであり、市内のやる気のある若い世代や女性が多く参加できるような企画にしてほしい。現在の事業の進捗状況はどうか。

**質問** 水道事業は、平成二十二年から二十七年まで六年間連続で純損失を計上している。今後、現状のまま推移すると、平成三十年ごろには経営がより一層厳しくなることが見込まれる。

# 大規模災害に備える

観光振興、三崎漁港の利活用

日本共産党 小林 直樹

**質問** 現在、本市では避難行動要支援者名簿の作成作業をしている。

災害対策基本法で定められた要配慮者（高齢者、障害者、乳幼児など）の中から、基準を設けて避難行動要支

年度内に解体する予定であるが、福祉会館と青少年会館は、解体の時期は未定である。消防本部は、今年度末まで使用し、その後閉鎖するが、建物と敷地の維持管理や活用の方法は、今後庁内で議論したい。

**市長** 国際交流事業は、三浦の青少年に有益な事業であり、これらもぜひ進めていきたい。

**市長** 今回、日の出通り商友会にご協力いただき、試験的に会場内に休憩スペースと手づくり灯籠を設置した。当日は多くの方が休憩スペースを利用し、ま

**水産担当部長** 蓄養を推進する。三浦市ではタイ、カンパチ、シマアジの蓄養が行われており、マグロと同じように三崎のブランドになり得ると思う。これらが三崎にもっと流通できるようにならないか。

**水産担当部長** 蓄養を推進することによって、直

**水産担当部長** 海業公社からは、うらりマルシェの開設は十一月初旬であること、関連して設置する「うらり」の外階段は、年内に工事を終えたい考えであることを聞いています。また、うらりマルシェへの出店者としては、約七十軒の農家から登録の希望が寄せられており、今後も拡大をしていきたい考えである。と聞いている。

**市長** 施設方針で述べたとおり、任期中は水道料金を据え置くという考えに変わりはない。現行では、内部留保を取り崩すなどして経営を成り立たせているが、厳しい経営状況に変わりはなく、近い将来、分岐点が訪れると考えている。

**質問** 最近では、観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める

**質問** 観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める

**市長** 観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める

**市長** 観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める

**市長** 観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める

**市長** 観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める

**市長** 観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める

**市長** 観光振興と住みよいまちづくりを同時に進める



三浦市の観光ビジョンは



教育部等が移転した第二分館



地元野菜等の販売（視察した施設）

### 常任委員会での陳情の審査結果

9月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて22件を審査しました。

今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。

そのほかの20件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	平成29年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情	了承できるもの
	平成29年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情	〃



### 新たに提出された陳情

◎日米地位協定の抜本的改定を求めめる陳情

趣旨 本陳情は、日米地位協定について抜本的な見直しを行い、日本の主権を行使できるように改定を求めめる意見書を国に提出するよう求めています。

◎自然災害対策に対する陳情

趣旨 本陳情は、集中豪雨等の自然災害から市民の生命・財産を守る対策を、市が早急に実施するとともに、公表することを求めています。

◎平成二十九年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情

趣旨 本陳情は、障害児者・透析者が負担なく医療を受けられるよう、配慮した施策を行うことを求めています。

◎平成二十九年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情

趣旨 本陳情は、移動困難者に対する通院支援を含む医療・福祉助成施策を行うよう求めています。

### 可決した意見書(概要)

#### 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

現行の国の奨学金制度は、独立行政法人・日本学生支援機構を通じて学生に貸与し、その返済金を次世代の奨学金の原資とする形で運営されている。

この奨学金制度の利用者は増加傾向にある一方、卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済に悩む人が少なくない。

そのような中、政府は6月2日に閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」において、返済不要の「給付型奨学金」の創設を検討することを盛り込んだ。

政府においては、学生が安心して勉学に励めるよう、返済不要の「給付型奨学金」の創設や無利子奨学金の拡充など具体的な経済支援策として、次の事項について取り組むことを強く求める。

- 1 学ぶ意欲のある若者が経済的理由で進学を断念することがないように、奨学金や授業料減免などの支援を拡充するとともに、貧困の連鎖を断ち切るため、2017年度を目途に給付型奨学金を創設すること。
- 2 希望するすべての学生等への無利子奨学金の貸与をめざし、「有利子から無利子へ」の流れを加速するとともに、無利子奨学金の残存適格者を直ちに解消すること。
- 3 低所得世帯については、学力基準を撤廃し無利子奨学金を受けられるようにすること。
- 4 返済月額が所得に連動する新所得連動返還型奨学金制度については、制度設計を着実に進め、既卒者への適用も推進すること。併せて、現下の低金利環境を踏まえ、有利子奨学金の金利を引き下げること。

〈提出先〉内閣総理大臣、文部科学大臣

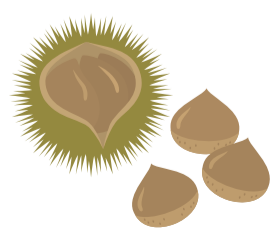
### 人事

定例会後に任期満了を迎える教育委員の任命をするための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

教育委員会委員

菊池 恵氏

玉井 恵理氏



### 本会議における討論

議案第四十三号

平成二十七年三浦市一般会計決算の認定について

反対討論

日本共産党 小林直樹

本市の職員数は、定数より大幅に少なく、慢性的な残業が見受けられる。職員の健康を守り、効率的な業務を行うために、適正な人事政策が必要である。

就学援助制度は、支給額が大幅に減額され、特に生活保護基準以下の家庭に大きな影響を与えている。制度を充実させ、すべての子供たちが安心して教育を受けられるよう求める。

そのほか、国民健康保険事業、介護保険事業、公共下水道事業では、いずれも平成二十七年において市民負担が増加している。

地域経済と市民生活、市財政は厳しい状況が続いており、職員が一丸となって市民の生活を守ることが重要である。無駄をなくし、公正で民主的な市民本位の行財政運営を求めて反対する。

賛成討論

みうら市政会 神田眞弓

人口減少や地価の下落、回復の兆しが見えない地域経済の影響から市税収入が減少する中で、身の丈に合った財政規模と、それに見合った事業数や事業内容に取り組んできた。

平成二十七年は、教育環境の充実、消防力の一層の強化、市民生活に直結したごみ処理、国際化をにらんだ市場の整備などの重要課題を前進させており、この中で国や県の有利な補助金や制度等を積極的に導入したことは大いに評価できる。

決算委員会の冒頭で吉田市長は、委員会で示された意見は二十九年度予算編成の参考にしたいと明言している。決算委員会で各委員から指摘された事柄を真摯に受け止め、職員が一丸となって行政執行にまい進されることを期待して、賛成する。

# 議会を傍聴しませんか

平成28年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
11月28日	月	招集告示
30日	水	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
12月5日	月	本会議（一般質問）
6日	火	本会議（一般質問）
7日	水	本会議（一般質問）
8日	木	総務経済常任委員会
9日	金	都市厚生常任委員会
13日	火	(仮)総合計画に関する特別委員会
14日	水	
15日	木	社会福祉事業等に関する特別委員会
20日	火	本会議（委員長報告・採決）

※請願・陳情の提出期限は11月29日（火）です。

- ◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴することができます。  
傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、住所、氏名、年齢を記入してください。
- ◆お問い合わせは議会事務局へ  
電話 046-882-1111 内線462・463

## 議会報告会

十月十五日・十六日に三回目となる議会報告会を開催しました。

今年、選挙権年齢の引き下げがされたこともあり、これからの三浦を担う若い方たちを対象とし、共通テーマと会場ごとにテーマを決めて開催しました。

各地区の会場、開催日時、会場別テーマ、参加対象者、参加人数は次のとおりです。



### ●共通テーマ

「一年間に審議した議案の内容について」

### ●初声地区（潮風アリーナ）

・十月十五日（土）午後七時～

・「地域経済振興について」

・（公社）三浦青年会議所、三浦商工会議所

青年部 十六人

### ●三崎地区（三浦市役所 議場）

・十月十六日（日）午後二時～

・「十八歳選挙権について」

・三浦市在住の中学生と高校生 七人

### ●南下浦地区（南下浦市民センター）

・十月十六日（日）午後五時～

・「学校施設と通学路について」

・市内小中学校のPTA 二十二人

各会場で出された質疑・意見等は、次号の

三浦市議会だより及び三浦市議会ホームページに

掲載します。



各区で回覧するチラシの梱包作業



リハーサルの様子

## 本会議での議案等の審議結果

### 〈全員賛成で議決した議案〉

#### 【議案】

- 第42号 三浦市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 第47号 平成27年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について
- 第50号 平成27年度三浦市病院事業会計決算の認定について
- 第51号 平成27年度三浦市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 第53号 平成28年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第1号）
- 第54号 平成28年度三浦市水道事業会計補正予算（第1号）

- 第55号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 第56号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

#### 【意見書案】

- 第4号 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

### 〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番 号	件 名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
			岩野 匡史	長島満理子	神田 眞弓	出口 眞琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹
【議案】 第43号	平成27年度三浦市一般会計決算の認定について	原案認定		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第44号	平成27年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第45号	平成27年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第46号	平成27年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について	〃	※1	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第48号	平成27年度三浦市公共下水道事業特別会計決算の認定について	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第49号	平成27年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について	〃		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
第52号	平成28年度三浦市一般会計補正予算（第2号）	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※1 議長は表決に加わらない